

半田市小中学校施設長寿命化計画(概要版)

半田市教育委員会

本市の学校施設は、昭和40年代から50年代の児童生徒の急増期に建築された施設が多く、老朽化対策が課題となっています。

この計画では、各学校施設の老朽化等の実態を踏まえ、学校に求められる機能を確保しつつ、中長期的な維持管理・更新等に係るライフサイクルコストの削減や予算の平準化を図っていくための方針等を取りまとめました。

(1) 計画の背景・目的等

① 背景・目的

国においてインフラ長寿命化基本計画が平成25年度に策定され、半田市においては、インフラ長寿命化基本計画の行動計画となる半田市公共施設等総合管理計画を平成28年度に策定しました。

本計画は、半田市公共施設等総合管理計画との整合を図りつつ、小中学校施設の具体の対応方針を定める計画として策定するものです。

② 対象施設

	学校数	棟数	延床面積
小学校	13校	192棟	91,509㎡
中学校	5校	111棟	45,636㎡
計	18校	303棟	137,145㎡

③ 計画期間

令和2年度～令和41年度までの40年間

(実施計画については3年間のローリング)

(2) 施設の在り方

1) 計画的な保全による長寿命化の推進

- 「事後保全」型の管理から「計画保全」型の管理へと転換

2) 安心安全に利用できる施設づくり

- 児童生徒が安心安全に利用できる施設等
- バリアフリー化やユニバーサルデザインの推進等

3) 新たな時代に対応した施設づくり

- 新たな時代に求められる教育環境に対応
- 教育内容等の変化や社会的変化にも柔軟に対応することができる施設整備等

(3) 施設の実態

① 運営状況・活動状況等

1) 学校施設保有量

- 小中学校施設としては、303棟、延床面積約13.7万㎡
- 築30年以上経過した建物は230棟、延床面積は約12万㎡であり、面積割合で85%

2) 児童生徒数及び学級数

- 児童生徒数は多少の増減はあるものの全体としては減少傾向
- 学級数は小学校では微増、中学校ではわずかに減少傾向

3) 施設関連経費

- 平成26年度から平成30年度の5年間における施設関連経費は、年間約2.6億円から約6.9億円で推移しており、5年間の平均は約4.9億円/年

② 施設の老朽化状況

- 築年数が古いものを中心に健全度が低くなっており、築40年以上の棟において特に低い傾向

③ 今後の維持・更新コスト

- 長寿命化型（予防保全で80年使用）により、従来型（事後保全で50年使用）から年当たりコストを削減

(4) 整備の基本的な方針等

○長寿命化改修による重点整備

○中長期的な維持管理に係るライフサイクルコストの縮減及び予算の平準化

○効率的かつ効果的な施設整備

ライフサイクルコスト縮減の考え

改修・改築等を行う際には、コストや求められる機能・性能を考慮するとともに、建設費から今後の運用費（光熱水費等）、保全費、修繕費、設備更新費等を含むライフサイクルコストを総合的に考え、イニシャルコストとランニングコストの低減につながる方式や仕様等を選定し、施設整備を進めます。

① 規模・配置計画等の方針

1) 計画期間内での老朽化校舎の更新検討

- 現状の児童生徒数をもとにした学級数を踏まえるとともに、将来の児童生徒数を見据えた学級数への配慮

2) 将来的な更新検討

- 災害時の避難の場、地域と共に子どもたちを育てる場としての役割にも配慮しながら、小学校については、地域コミュニティの核となる場としての機能等も検討
- 更なる児童生徒数及び学級数の減少が進んだ場合や、児童生徒の負担に考慮しつつ、効率性の観点から配置見直しが必要となった場合には、統廃合や一部校舎の用途廃止・減築等も検討（学校以外の公共施設との複合化も考慮）

② 改修等の基本的な方針

1) 長寿命化の方針

- 上位計画である総合管理計画と同様に、本計画においても予防保全による施設の改修等を行うことで、計画的な修繕による施設の長寿命化
- 築40年以上経過する建物等が多い学校は、建物の老朽化状況、構造体の耐力、工事中の児童生徒への負担を含む学校運営への影響、建物の配置状況等を踏まえ、設計・施工に係る専門家等の知見を持って長寿命化改修実施の有無を検討

2) 目標使用年数・改修周期の設定

- 総合管理計画では、長寿命化による更新サイクルを80年としており、本計画においても同様の目標使用年数を設定
- 改修周期についても総合管理計画を踏まえ、長寿命化改修を40年、大規模改造を20年と設定

(5) 整備の水準等

① 改修等の整備水準

- イニシャルコストではなくライフサイクルコストを重視し、長寿命化や改築しやすさに配慮した改修
- コストに配慮した環境性能や利用者快適性の向上
- ユニバーサルデザインへの配慮

② 維持管理の項目・手法等

- 半田市公共施設等総合管理計画を踏まえ、点検項目ごとの劣化状況を定期的に点検することで、適正な維持管理を図る

(6) 長寿命化の実施計画

① 改修等の優先順位付けと実施計画

1) 改修等の優先順位付け

- 実態を踏まえ、大規模改修等による長寿命化が必要な施設や改築等による整備が必要な施設の精査を行い、以下の優先順位の考えをもとに優先順位付け

優先順位	改修等の内容
1	安全・安心への対応（老朽化が著しい箇所の改修、防水・外壁改修等）
2	施設機能の確保（給水・電気・エレベーター改修等）
3	教育内容・方法への適応（ICT化、インクルーシブ対応等）

2) 今後3年間

- 早急な実施が望まれる防水や設備の改修等の実施
- 乙川中学校や亀崎小学校の老朽化に伴う改築に向けた設計等（建物劣化や耐力の低下が顕著な為、改築を主体に対応予定）
- 実施計画は、毎年度向こう3か年度の計画を作成し具現化

② 長寿命化のコストの見通し

- 長寿命化型（文科省推奨）の予防保全による方法を見込む

(7) 計画の継続的運用

① 情報基盤の整備と活用

- 1年毎の定期点検記録表の公共施設の状態に関する情報を管理

② 推進体制等の整備

- 本計画をもとにした小中学校施設の維持管理に関するマネジメントを実施

③ フォローアップ

- PDCA のマネジメントサイクルに基づき、必要に応じて計画の見直しを実施

□ お問い合わせ

半田市教育委員会学校教育課

電話：0569-84-0687

所在地：〒475-8666 半田市東洋町二丁目1番地

Eメール：gkkyoiku@city.handa.lg.jp